



ゆう  
友



ゆう  
湯



かもめ  
鳴

# 荒浜地区まちづくり協議会 会報 第15号

## ★巨理町の将来像★

思いやりの心で力を合わせ

安全で安心できる豊かなまち 巨理

発行日 平成27年1月1日  
 発行者 荒浜地区まちづくり協議会  
 住 所 巨理町荒浜字中野33  
 荒浜地区交流センター内（勤労青少年ホーム）  
 電 話 0223-36-8189 FAX 0223-36-8190  
 Email [wa.tukurii.ara@iaa.itkeeper.ne.jp](mailto:wa.tukurii.ara@iaa.itkeeper.ne.jp)



## 謹 賀 新 年



鎌田 幸夫 会長



### 年頭のごあいさつ



荒浜地区まちづくり協議会 会長 鎌田幸夫

明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族一同にて希望に満ちた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。また、昨年中は荒浜地区まちづくり協議会の事業と運営につきまして、役員の方々をはじめ、各部会の皆様にご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

震災から、間もなく四年を迎えますが、この間、町内の復興事業も目に見える形となり、河川堤防や海岸防潮堤はもとより、一日も

早い完成を願った集団移転地の造成や公営住宅等も完成・入居が始まりました。程なく、荒浜地区に居住する人もほぼ固まると思いながら、地区住民としてようやく「心の復興」の第一歩を踏み出すことができるものと考えています。当初より、まちづくり協議会は地域住民の全員が会員ということで設立されました。役員や事務局職員は地域の皆様が活動し易いようにサポート役を引き受けます。より一層、地域に密着した協議会でありたいと強く感じております。

また、昨年7月から住民代表（行政区12名と役員19名）による地区計画策定委員会を開催し、今後5年間の活動基本案となる荒浜地区の「まちづくり地区計画」を作成中です。

3月までに完成させ、この計画に基づいて「まちづくり活動」を進めていく事になります。

この「まちづくり地区計画」は、地区住民の安全・安心・暮らし易さ等を基本としますが、地区住民相互の交流や親睦を図ることと新しい絆づくりに必ず役立つものと思っています。

今年も、役員・職員一同頑張ってお参りますのでより一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。





# 荒浜地区の「まちづくり地区計画」策定委員会



10月13日と11月24日に「まちづくり地区計画」の策定委員会が開催されました。各行政区から選出された12名と役員19名が参加して行われました。委員会はワークショップ形式で、希望する5つのテーマに別れての意見交換となりました。

5年間の地域計画とあって、誰もが真剣な表情で意見の交換を行い建設的な意見が数多く出されました。中には、将来の荒浜地区を理想的な観光都市に変貌させ、誰もが羨む地域で生活したいという意見もあり、荒浜への熱い思いを述べた参加者がいました。休憩なしのワークショップでも時間の経つのを感じさせない程の3時間でした。終盤には、各セクションで話し合った内容を代表者が発表し、次回はまとめの作業に入ることで散会しました。



分科会ごとに代表が発表



真剣に意見交換をする参加者

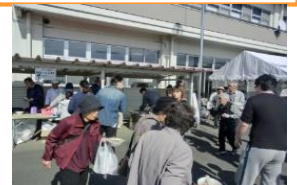


## 荒浜復興祭



10月19日(日)

今年で4回目の荒浜復興祭。今回もカラオケ大会を開催することになりました。受付では来場者全員に露店の無料引換券が配布されました。また、会場のステージ前には地域の商店から豪華な協賛品が賞品として並べられ復興祭の雰囲気盛り上げるのに一役買っていました。プロ歌手渡辺新一さんと3名の審査委員を横目に、いよいよトップバッターがステージ上で自慢の唄を歌い始めると会場の熱気もさらにヒートアップしたようです。出場者20人の自慢の歌声が会場に響き渡り、大きな拍手が続きました。途中休憩時に司会の保田さんによる軽い体操のレクチャーがあり、楽しく後半戦が始まりました。飛び入り参加者が自慢の喉を披露するおまけも付きました♪。審査発表までの僅かな間、地元のプロ歌手「渡辺新一」さんに披露して頂いた心に響く演歌に、来場者はウツトリ聞き惚れていました。ドキドキの審査発表。豪華景品は誰の手に！来場者全員にもお楽しみ抽選会がありました。食生活改善推進連絡協議会の皆様と各部会役員の皆様には前日の準備と早朝からお手伝いをして頂き、ありがとうございました。



ミニ露店の賑わい



桂銀淑のベサメ・ムーチョよ！♪♪



風の十三湊♪



プロ歌手の歌声に皆さんウツトリ

- 最 優 秀 賞 : 峯岸幸雄
- 優 秀 賞 : 桶谷清定・中嶋敏子
- 審 査 員 特 別 賞 : 渡辺良子
- 電化ショップ梅津賞 : 荒卓哉
- まちづくり協議会賞 : 玉田秀乃
- 熱 演 賞 : 茂木貞夫・生出一男・村上陽子  
佐藤三雄・高橋とよ子・宍戸正  
安斎彦治・霜山桂子・小野シゲ子  
宍戸謙一・大川弘子・岩佐容子・武田彰



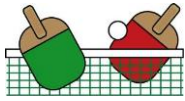
最優秀賞、豪華景品！



優秀賞の贈呈式！



抽選でゲット！



## 荒浜地区スポーツ交流会 卓球&ニュースポーツ

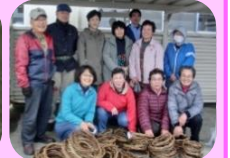
10月26日(日)肌寒い日でしたが、ラジオ体操で体を温めて亘理町体育指導委員協議会や荒浜地区、亘理地区、吉田地区、海洋センター卓球愛好会の協力を頂き、46名の参加者のもとの開催されました。卓球の試合はミックスダブルス形式で4ブロックに別れ、いずれのペアも目を見張るような熱戦を展開しました。また、同時開催のニュースポーツ講習会では、カローリング、ラダーゲッター、シャッフルボードに別れ指導員のルール解説や技術指導に耳を傾けていました。レクチャーを受けた受講生は思い思いの種目で和気あいあいと楽しんでいました。閉会式で卓球部門の優勝チームにトロフィーが授与され、参加者は婦人会の皆様が腕を振るったいも煮とおにぎりを食べながら、試合の話題で賑やかに終わりました。今回も婦人会の皆様のおかげで美味しい、いも煮をご馳走になりました。参加した皆様、お疲れ様でした。



## ふらこ園芸クラブ 頑張ってます！

11月12日(水)

野外活動なのに・・・雨降りで寒い一日となりました。講師役の佐野さん始め13名の方々にレイズドベッド(底上花壇)と体育館脇の花壇の植え替え、そしてクリスマスリースの土台を製作しました。このリース土台は12月7日(日)に荒浜小学校児童がクリスマス会に使用するもので、簡単にリース作りを楽しんでもらおうと、クズのツルを刈り取り幾重にも編み込んで作って頂きました。手も冷たく大変な作業になりましたが、終了後には温かい飲み物でホッと一息。寒空で作業して頂き、大変ご苦労様でした。



## 陶芸教室

11月20日(木) 末家焼(ひろ窯)

毎回人気殺到の陶芸教室！受講生の皆さんが待ちかねている日でもあります。今回、初参加の受講生はとても自信ない様子でしたが、講師の丁寧な指導でようやく表情がほぐれ、熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。いずれの参加者の作品も独創的で個性あふれるものに仕上がりと、釉薬を施した完成品が手元に届くのがとても楽しみです。今回は男性の方も3名受講していただきました。これからも、まだまだ沢山の男性の方々、そして、受講してみたいけど不器用で・・・と思っている方！ 経験の有無は問いません。講師の先生から親切に教えてもらえますので、勇気を出して受講してみたらいかがでしょう。事務局員一同お待ちしております。

**【次回予定】**  
亘理町広報紙  
の2月号を  
ご覧下さい。





## 陶芸教室作品展示会



11月27日（火）～30日（日）の4日間、勤労青少年ホーム（旧支所）において平成26年2月、5月、9月に行われた陶芸教室受講生の作品展示会を開催しました。豪華なアレンジメントフラワーとBGMが流れる作品展示会場は体育室とは思えない雰囲気醸し出し、訪れた来場者の歓声がひときわ華やかでした。また、喫茶コーナーではお茶をすすりながら、製作時の苦労話に花が咲きました。今年で2回目の展示会ですが『また楽しみにしています。』と来場者の皆さんからの声がたくさんありました。来年も開催しますので宜しくお願いします。



## 荒浜小学校クリスマス会



12月7日（日）



育成部会の主催（PTAが主体）で荒浜小学校クリスマス会が行われました。メッセージカードに、がんばる目標やお願い事等を書いてツリーに飾りました。引き続きリース作りコーナーに移動して11月12日にボランティアの皆さんに作って頂いたリース土台に木の実をボンドで付けました。どんぐりに顔を書いたり思い思いに工夫してリースの飾りつけをしました。接着剤が乾くまで時間がかかるので、続きはお家での作業になりました。いよいよ、お待ちかねのゲーム！4チームに分かれてしっぽ取りゲーム。息を切らしながら相手のしっぽを目指し追いかけっこ。息を切らした後はサンタさんと、じゃんけんゲームでイザ勝負。はしゃいだり大声を出したり、喉も渇きお腹もすいたところでランチタイムになりました。サンタさんからハンバーグとプレゼントをもらって、みんなでパクリ。最後に6年生の太田輝さんがお世話して頂いた方々にお礼の言葉を述べて終了です。ご協力いただいた、ふらここ互理の皆さんと保護者の皆様には朝早くから準備をしていただき感謝します。ありがとうございました。



## パソコン教室（第2回）



12月13日（土）14日（日）の2日間、第2回目のパソコン教室を開催しました。今回は住所録と年賀はがきの作製について仙台インターネット通信社の齋藤邦男氏に講師を依頼しました。午前と午後の2回に分け同じ内容での2時間講習でしたが、午前と午後とも希望する熱心な受講生はマニュアルに細かくメモを取りながら集中してパソコンを操作していました。完成した受講生から順にテスト印刷し、家でもオリジナル年賀状印刷が作れると満面の笑顔でした。帰りには、またパソコン教室を開いてください。との希望がありましたので、次回も開催予定を考慮していきたいと思えます。



今年も大分県日出町から支援のもち米「希望米」をいただきました。11月に日出町と友好都市協定締結を交わしたことで、ますます交流が深まるものと思えます。餅米を使って行政区や各種団体等で餅つき大会や親睦会、お茶会等にご利用ください。その他、蒸し釜・餅つき機・鍋等の備品も数々取り揃えておりますので、当事務局までお問い合わせください。